

富医ニュース

No.560 平成30年8月1日

一般社団法人 富田林医師会
会長 宮田 重樹
〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38
TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858
E-mail: mail@tondabayashiishikai.jp

調 整 日

7月分 8月8日(水)
PM3:00まで

8月分 9月6日(木)
PM3:00まで

8 月 の 予 定

4日(土)・移動理事会

8日(水)・調整日

13日(月)

・事務所夏季休務

16日(木)

22日(水)・学術講演会

24日(金)・広報調査委員会

27日(月)・訪問看護ステーション

運営委員会

28日(火)・休日診療委員会

・広報調査委員会

(校正)

平成30年度

社会保険指導講習会

去る7月14日、恒例の平成30年度社会保険指導講習会が当医師会にて開催されました。「最近の指導・監査の動向と保険診療、医療における人権問題について ～審査上の取扱いを含めて～」という演題で、大阪府医師会副会長の高井康之先生にご講演を賜りました。保険医療の基本の話に始まり、平成30年度診療報酬改定に伴う各論(かかりつけ医加算、妊婦加算、遠隔診療)の説明がありました。今後も質の高い在宅医療と訪問看護の確保に向けての取り組みが診療報酬へ反映される傾向に変わりのないことが説明されました。

その後各種管理料を算定するにあたってのカルテ記載の要点、医療保険と介護保険の住み分け、各種検査における請求の留意点、病名記載の要点、レセプト請求時の留意点、電子カルテ使用上の留意点、鍼灸療養同意書記載の注意点、府の福祉医療助成制度の変更点など、多岐にわたる留意点について丁寧な説明を頂きました。

最近の指導監査の動向は例年とそう変わらないようですが、大阪府においては地域柄でしょうか、レセプト請求点数の平均が高いことよりも患者さんや職員からの告発による指導監査の件数が他の都道府県と比して格段に多いとのことでした。

富田林医師会 学術講演会のご案内

厚生労働省は2015年8月に事実上の「遠隔診療解禁通知」を発出。さらには18年度診療報酬改定ではオンライン診療科、オンライン医学管理料が新設された。

オンライン診療アプリ「クリニクス」を展開する株式会社メドレーの代表取締役医師の豊田剛一郎先生の講演を予定しております。

日時：平成30年8月22日(水) 14:00～15:00

場所：富田林医師会 大会議室

総合司会 くにさだ医院 國定 慶太先生
講演 株式会社 メドレー 代表取締役医師 豊田 剛一郎先生

『オンライン診療アプリ開発者が語るオンライン診療の現状と未来』

※当講演会は、大阪府医師会生涯研修システム登録講演会となっております。

生涯教育チケットをご持参頂く様、お願い致します。

取得単位は1単位、カリキュラムコード(6)医療制度と法律(12)地域医療を申請中です。



平成30年 7月定例理事会

日 時 平成30年7月13日(金)
13:30より
場 所 医師会 特別会議室

会長挨拶

報告事項

- 1) 医療問題研究委員会委員の推薦について
山本善先生推薦 (会長)
- 2) 医師会事務員就業規則、給与規定について(会長)
- 3) 市民向け、患者向けの地域健康セミナー、教育講演など、健康・疾病に関する啓発活動について(会長)
- 4) 訪問看護師に対する講演依頼について
(訪問看護ステーション運営委員会)
- 5) 学校医報償費について (学校医部会)
- 6) 富田林三師会 災害時医療救急活動マニュアルについて「東京防災」を会員に一冊ずつ配布
(救急災害医療委員会)

協議事項

- 1) 入退会の件
- 2) 予防接種健康被害調査委員会委員の推薦。富田林市・千早赤阪村…宮田会長、藤岡雅司理事 河南町…宮田会長、仲谷理事
- 3) 富田林市・太子町・河南町・千早赤阪村 国民保護協議会委員及び防災会議委員 宮田会長
- 4) 富田林市情報公開・個人情報保護運営審議会委員。来年の任期終了まで堀野前会長、任期終了後宮田会長へ
- 5) 第一回郡市区等医師会救急医療担当理事連絡協議会の開催について
- 6) 妊婦に使える薬の参考書を休日診療所に2冊配置予定 (休日診療委員会)
- 7) 宮田会長より 10月骨と関節の日に因んで、医師会主催でロコモティブシンドロームに関する講演会予定

第5回「平成の会」

ロシアワールドカップセネガル戦前夜の何か足もとが落ち着かない小雨降る中、第5回「平成の会」が西天満の「Chi-Fu」にて催されました。とにかくお洒落なコンクリート打ち放しの個室にて、会員の誰もが口にしたことのない、こりに凝った創作チャイナの前菜を楽しみながら、赤松副会長より挨拶があり、仲谷理事の乾杯の

音頭にてシャンペングラスがかたむけられました。

つづいて何が出てくるのかわからない素材のみが書かれたメニューを横目に、会員の近況がかたられました。料理にあわせた赤や白のワインが注文なしにグラスにそそがれつつも、辛抱たまらず生ビールのオーダーがあいつぐなか、「ライザップ体験談」、「奥様とのお花見観賞ドライブのお話」、「サーキットでのレース体験談」、「ジオラマ模型のお話」、「南の島でのドクターヘリ要請のお話(スキューバダイビング中に船上での心肺停止者に蘇生をほどこしドクターヘリを要請し救命されたとのこと)」、「しょうもない野菜作りの長話」等々、個性むき出しの笑談のなかおひらきとなりました。

ほろ酔い気分で北新地まで歩き二次会が催されましたが、次回の新しい元号での「平成の会」の発展を予感させる実りある集いとなりました。

専門医より一言



「蕁麻疹など日頃よく見る
皮膚疾患の臨床像と対応」

富田林病院 皮膚科

中川 浩一 先生

今回は、日頃よく見られる皮膚疾患にスポットをあてて、簡潔に解説を加えました。

1. 蕁麻疹。蕁麻疹は形態学的に“膨疹”と呼ばれる皮膚症状です。つまり皮膚の中に水(血漿成分)が浸潤した水ぶくれのようなものです。それとその周りに紅斑ができることもあるという特徴的な臨床像です。まずこの特徴を理解していただかないといけません。次に、時間の経過とともに出没を繰り返すことが第2の特徴です。このような皮膚疾患は他にございません。そして、蕁麻疹の治療は抗ヒスタミン剤です。場合によってはステロイドの内服や点滴をすることもありますが、基本的には抗ヒスタミン剤で寛解が得られます。一方、蕁麻疹の原因は、サバなどの特定の食品であることはほとんどありません。多くは、空気中を浮遊しているものを吸入したり、温度の変化、物理的刺激、ストレスといったつかみよのない要因です。したがって、対症療法が主体となり、その患者さんにあった抗ヒスタミン剤を見つけてあげるのが重要です。ともかく、蕁麻疹のキーワードは膨疹と抗ヒスタミン剤です。

2. 湿疹(皮膚炎)。湿疹は皮膚疾患の1つの診断名で、皮膚疾患=湿疹ではありません。この点をまず覚えてください。湿疹は皮膚疾患患者の3分の2を占めると書いてある教科書もあるくらい非常に頻度の高いもの

です。しかし、湿疹の臨床像はさまざまであり、他科の先生には難しいかもしれません。基本的には紅斑、水疱、鱗屑といった点状の皮疹の集合体と言われていますが、典型的でないことも多くあります。唯一、先生方も診断をつけやすいものに接触皮膚炎があります。何かに触れたとか、塗ったとかそういった病歴があるのでわかりやすいと思います。これらの湿疹の治療は“ステロイド外用剤”です。痒みが強い時には抗ヒスタミン剤を併用しますが、基本はステロイド外用剤です。先生方が思っているよりは少したっぷり目に塗ってもらうのがコツです。一度は試してみてください。1-2週間してよくなる時は診断が間違っている可能性が高いので皮膚科専門医にご紹介ください。

3. 帯状疱疹。帯状疱疹も比較的多い皮膚疾患です。ご存じのようにからだの左か右のどちらかに帯状に水疱・紅斑がでます。水痘の既往のある患者さんと、高齢化や内臓悪性腫瘍の合併、過労やストレスなどがトリガーとなって免疫力が低下した時に発生します。強い痛みがあることが多いです。診断が付いたらすぐに抗ヘルペスウイルス薬を投与することが重要です。抗ヘルペスウイルス薬はかつてゾビラックスと言う薬しかありませんでした。これは1日に5回も飲まないといけないので非常にコンプライアンスが悪い薬剤でした。その後、バルトレックス、ファムビルという薬剤が発売されて1日3回になりました。最近ですが、アメンアリーフと言う薬剤が登場して、1日1回の内服でよくなりました。しかもこのアメンアリーフは腎機能によって減量しなくていい薬剤なのです。開業されている先生方は急に腎機能を検査できないので、是非、このアメンアリーフを採用されることをお勧めします。一方、帯状疱疹の予防のための帯状疱疹ワクチンも認可されています。50歳以上の方が対象ですが痛い帯状疱疹になりたくない人にはお勧めです。

4. 薬疹。ご開業の先生方から「薬疹ですか？」という紹介状をいただくことがしばしばあります。体中に小さな紅斑が散布しています。でも、私たち皮膚科医は、この状態を見ただけで薬疹かどうか、あるいは原因薬剤まで分かることは不可能です。このような皮疹を皮膚科医は“中毒疹”と呼びます。すなわち、体の中に良くないものが入ってきて、それに対する反応を見ているだけなのです。その原因は薬剤のこともあるでしょうが、ウイルスや食品でも同様のことが起きるのです。ですから、即答はできません。ただ、皮膚科医は『薬疹情報』というありがたい本を持っています。この本は過去数十年にわたって、各種検査で科学的に証明された薬疹とその臨床像、検査法が網羅されています。これで、その薬剤にどのようなタイプの薬疹が出やすいのか、あるいはどのような監

査が必要なのかがわかります。皮膚科医はこの書籍である程度の目安をつけて、さらなる検査で薬疹の診断をします。ただ、この検査は多大な手間と時間がかかりますので、患者さんの協力が必要になってきます。患者さんの協力が得られるなら、いつでもご紹介ください。

5. 最後に、富田林は動物王国です。いろいろな動物、昆虫などの皮膚障害の患者さんが来ます。マムシに咬まれた患者さんもしばしば来院されます。毒蛾皮膚炎やセアカゴケグモによる皮膚炎もありました。ムカデやハチの被害もしょっちゅうあります。

以上、様々な皮膚疾患がありますが、困った患者さんがいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。



新理事就任ご挨拶

とねクリニック 刀禰 央朗 先生

新理事に推す声がある、と噂に聞いたとき、ダチョウ倶楽部の伝統芸である「押すなよ！絶対に押すなよ！」と違って、本当に押すなよ！と内心念じていました。開業3年目、慣れてきたとはいえまだまだ足元のおぼつかない自分に、医師会理事なんて務まるのだろうか、というのが本音でした。宮田新会長から説得を受けた際、うまく断れなかったのが理事となった一番の要因ですが、そもそも理事の仕事がどんなものか解らず不安なのだとして自己分析し、ならば最初は自称「とりあえず理事」としてお受けしようと不謹慎な決心で、この未知の世界に足を踏み入れました。

理事として医師会活動に参加するようになりまだ、2か月足らずですが、開業医として本業を立派に成功させつつ、医師会というインフラを支えている諸先輩方の仕事ぶりを間近で見ている、自分も頑張らねばというモチベーションが湧いてきます。とはいえ、新人理事には右も左もわからないことが多く、すぐには有名選手のような二刀流とはいきません。徐々に仕事を覚え微力を尽くしてまいりますので、皆様どうかよろしく願います。

赤鬼のモデルは誰？

昔話によく出てくる赤鬼や青鬼。そのモデルは一体誰なのか？

赤鬼は、はしか7病日目の子の顔。大小の発赤斑が完全に融合して顔は赤黒一色に。

赤鬼は、上げ下しの胃腸炎の子が、1回目の嘔吐をする直前の顔の色。

ここまでは極めて簡単でよく見られるモデル。では、変身する狼男のモデルは誰？

それは、診察中の一瞬の出来事。若くてスリムで可愛い女性患者さんが主治医に向き合って座って症状の説明をしていたが、一瞬その説明が途絶えた。見ると、顔が完全に別のものになっていた。変身は一瞬だった。まぶたがブヨブヨに腫れて眼におおいかぶさり、頬など顔全体もむくんでいた。ポケモンでいえば、「赤色から肌色になってふやけたゲノセクト」。

数秒後、元のスリムな可愛い顔に戻り、「何何何子ちゃん(患者さん本人の本名)がね、診察料を安くする方法があるんだよ、と教えてくれたんです。」と小さな声で幻聴の内容を告白。統合失調症で通院治療中だが、かぜひきや湿疹などの時に当院に。

幻聴という神の声にも似た極めて大きな声が聴こえたため、聴性顔面神経反射(突然大きい音を聞いた時に眼をつぶったりする反射)が顔面全体の表情筋にも及び一時的麻痺を来したと考えられる。表情筋が活動しているため引き締まった顔の表情が保てるが、活動停止すると、まぶたが下がるだけでなく顔面全体が弛緩しブヨブヨと膨れ上がる。

映画の狼男や人気漫画「ドラゴンボール」の悟空の変身は数分かかるが、本当の変身は神経反射によるものなので、一瞬。

この話を医院受付職員にしたところ、半年余り前、受付窓口で主訴を聴いている最中に突然白眼をむいて、30秒間くらいじっと立ちすくんで動かなかったとの事。「一瞬、意識が飛んでしまった。」と告白。この時は幻聴は無かったため聴性顔面神経反射はおこらず、白眼の他には顔の表情に特に変化は無かったとの事。

「物作りが得意な日本人」という時、「物作り」ではなくて「物まね」やろ、という批判が付けられる事が多い。しかし、真空空間から物を創り出すほど人間の頭は賢くなく、人間の発想は全て「物まね」。モデルがある。

哲学者サルトルは、その唯一の代表的小説「嘔吐」の発行前にパートナーのポーボワールから手厳しい添削を受けたが、これは有名な話。形容詞は全て削られた。一流の文筆家は、形容詞は使わない。「名詞」で形容する。「名詞」即ち「モデル」。

中原中也の「冬の長門峡」という詩に、

やがても蜜柑の如き夕陽、欄干にこぼれたり。
との一節がある。(まるる)

7月行事・会合

- 2日(月)・会長副会長連絡会議
- 6日(金)・調整日
- 10日(火)・学校医部会
- 11日(水)・救急災害医療委員会
- 13日(金)・理事会
- 14日(土)・社会保険指導講習会
・女性医師の会
- 18日(水)・病診連携会
- 24日(火)・感染症対策委員会
・広報調査委員会
- 27日(金)・広報調査委員会(校正)
- 29日(日)・TMF
- 31日(火)・休日診療委員会



災害時医療救急活動
マニュアル

←「東京防災」

- 会員数(8月1日現在) 190名
A会員 98名 B会員 92名
- 入会 7月2日
森本 充男 B(富田林病院 麻酔科)
- 8月1日
山本 秀文 A(山本耳鼻咽喉科 継承 耳鼻咽喉科)
- 退会 5月30日
益田 耕吉 A(ますだ医院)死亡退会
- 7月31日
平井 昭彦 A2B(PL病院 外科)
- 異動 8月1日
山本 正宏 A→A2B(山本耳鼻咽喉科)

広報調査委員会

委員長	齊藤 謙介	副委員長	森井 秀樹
委員	青山 賢治	天城 完二	植村 匡志
	江村 俊也	奥野 敦史	尾多賀雅哉
	遠山 佳樹	中村 元	藤岡 洋
	山本 善哉	山村 友良	